

報告
二俣川駅に「ホームドア」設置の展望が
日本共産党横浜市会議員 かわじ民夫



かわじ 民夫

1951年生まれ / 新潟県立農工専門学校
／東洋電機製造株 / 中務屋が丘保育園
園父母の会会長など歴任 / 横浜市長
3期 / 中務屋が丘在住

電話所 万輪が原33-10
☎045-360-7686

横浜市の第1回定例会・予算議会が2月1日、3月24日まで行われました。鉄道駅可動式ホーム柵整備事業（ホームドア）写真が拡充されました。鉄道駅における市民の安全性や列車運行の安定性、利便性のさらなる向上を図るため

現在市内には、157の鉄道駅があり、その内61の駅にホームドアが設置されています。今回、横浜市が補助対象駅とするのは、市内にある視覚障害者利用施設の見守り7駅と、1日当たりの乗降客数が10万人以上の21駅です。横浜市では対象駅の整備完了を、原則32年度までを目標に促進するとしています。相鉄線では28年度中に横浜駅の1、2番線が整備され、二俣川駅では29年度以降とされています。

川県のライトセンターが二俣川駅の近くには神奈川県
相鉄に、早期の設置を
求めましょう

二俣川駅の近くには神奈川県
の施設で、利用者は年間約
2万人。近隣より遠方からの利用者が圧倒的多数で、そのほとんどが二俣川駅で乗降されます。20年ほど前になりませんが、二俣川駅で、県ライトセンターを利用する視覚障害者の、ホームからの転落死亡事故がありました。こうした悲劇が二度と起きないようにするためにも、ホームドアの早期の

設置が求められます。相鉄にも早期の設置を求めていると思います。

